ビルトインガスオーブンレンジ
（電子レンジ機能付）

SDR314EN
EDR314EN　（出荷高さ６３０mm）

取付設置説明書

取付設置される方へのお願い

- 条件を外れた取付設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料修理となります。
- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は、安全確保のため必ず定期点検（有料）を受けてください。
- 機器を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された施工を行ってください。
- 取付設置が終わったら取付設置後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず確認してください。
- 取扱説明書、クッキングブックは必ずお客様にお渡しください。

取付設置後の点検確認

不備があると、感電・火災・ガス漏れなど思いがけない事故の原因になります。

- チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ガス種・電源	銘板は使用するガス種・電源と適合していますか。	2	
	同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	4	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離・火災予防の措置は十分ですか。	2	
	設置条件	障害物等との離隔距離は十分ですか。	2	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	2	
	水平設置	水平に設置されていますか。	2	
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはありませんか。	2	
	機器高さ	高さの微調整によるコンロとのスキ間は適切ですか。	5～8	
	給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	3	
ガス配管・電気工事		接続は正しく施工され、ガス漏れ等がありませんか。	9～11	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付しましたか。	9	
その他		オーブン庫内に付属部品が残っていませんか。		

試運転

1.取扱説明書の「使いかた」に基づいて試運転を行ってください。
2.試運転終了後 及び 長期間使用しないときはガス栓を閉じてください。また専用ブレーカーの場合はブレーカーを切ってください。※ブレーカーを切る場合は本機器専用ブレーカーであることを確認してください。

お客様への取扱説明

1.取扱説明書によって、機器の取扱いを説明してください。
2.試運転終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入のうえ、お客様に渡していただき、保管のお願いをしてください。

安全に正しく使用していただくために

- ここに示した注意事項は機器を正しく安全に設置工事していただき、設置工事作業者 及び 機器を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

- 誤った工事により生じる危害・損害の程度をつぎのように区分しています。

⚠ **警告**	作業を誤った場合に設置工事作業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	作業を誤った場合に設置工事作業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

ケF11-01
7RC6P104-19175(0810-00B)

1．設置工事をされる方へ

⚠警告

必ず実行

●この「取付設置説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行う。

●建築基準法、各都市の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」に従う。

誤って不適応なビルトインガスコンロと接続された場合、重大な事故の原因になります。
この機器は、必ず当社指定のビルトインガスコンロと接続してください。もしオーブン単独で使用されますと、ビルトインガスコンロとの接続用フレキ管のゴムキャップ部からガス漏れしたり、機器の排熱によりキャビネットが損傷等の思いがけない事故の原因となります。

⚠注意

設置前の注意

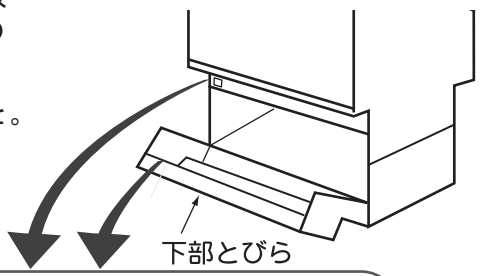
1．機器の確認

機器の下部とびらをあけ、本体正面左下部に貼ってある銘板（ガスの確認）および下部とびらの内側に貼ってある銘板（電源の確認）の表示内容を確認してください。

●ガス種と使用するガス（ガスグループ）の種類が適合していること。

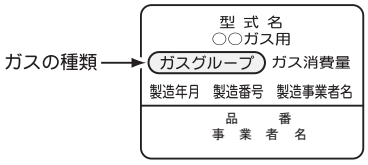
●電源（電圧・周波数）と使用する電源とが適合していること。

周波数は５０Hz-６０Hz共通仕様になっています。



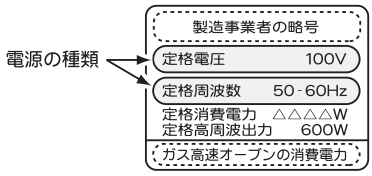
ガ ス の 確 認

＊ 本体正面左下部



電 源 の 確 認

＊ 下部とびらの内側



2．配管等の確認

ガス栓が、機器設置後でも手前側から開閉できることを確認してください。

3．設置工事後の点検項目の確認

まず（施工後の点検確認）を理解してから次へ進んでください。

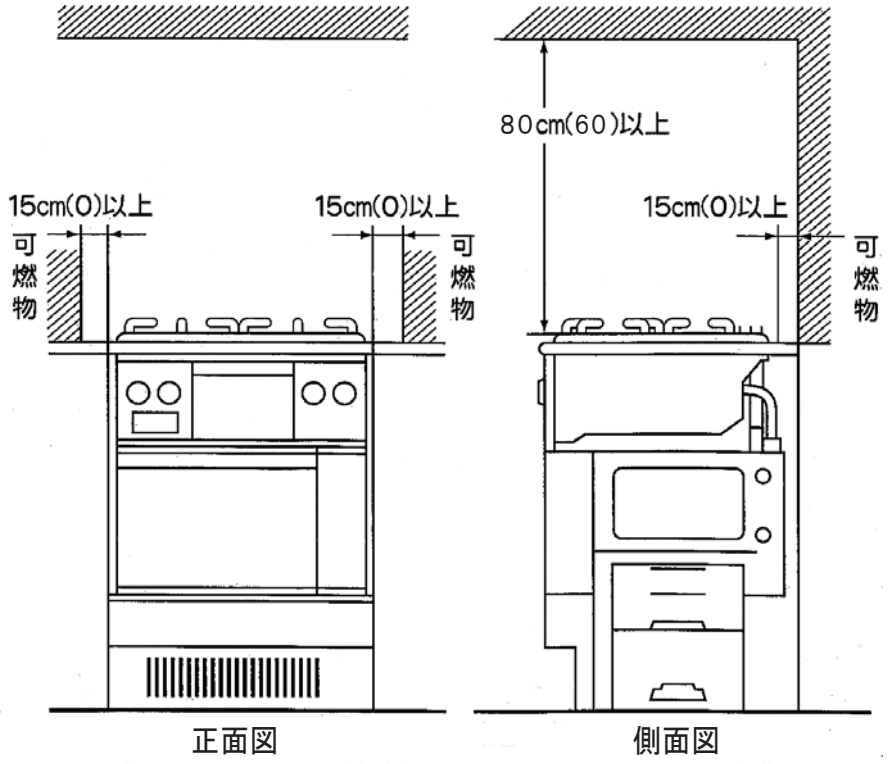
⚠ 注 意

設置場所の確認 設置工事を始める前に、次のことを確認してください。

1. 火災予防上について

- ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 火災予防条例および防火性能評定(ビルトインガスコンロ部)に準じ、カウンターより上の側面および背面は、木製のような可燃物からビルトインガスコンロ側の取付設置説明書に記載されている寸法以上離して設置してください。
  また上部に可燃物(吊り棚等)がある場合は、カウンター上面と可燃物の間にビルトインガスコンロ側の取付設置説明書に記載されている寸法以上の空間を設けてください。
- ビルトインガスコンロ側の取付設置説明書もよく読んで離隔距離を確認してください。
- 本体の一部が家屋の壁中のラスに触れたり、水切りカバー・壁の防熱板に接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電気的に接触しないようにしてください。
  (電気設備技術基準167条により義務づけられています)

【例】



※( )は、防熱板や不燃性の壁を取り付けた場合の寸法。

2. 給排気について

- 換気(給気、排気)が十分できる設備(換気扇、換気口など)があるところに設置してください。

3. 設置場所の周囲について

- テレビやラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、テレビやラジオなどを3m以上離してください。
- 棚の下など落下物の危険のあるところ、および樹脂製の照明器具の下には設置しないでください。

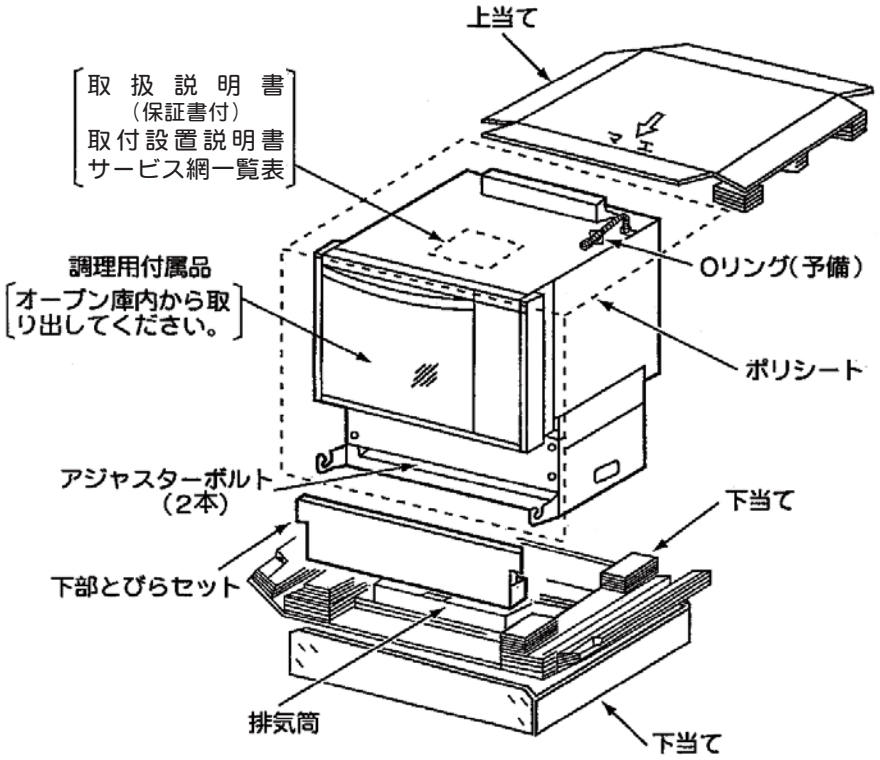
4. 設置場所のふん囲気について

- 水のかかる場所は部品の故障、ガラスの破損や漏電の原因になりますのでさけてください。
- 丈夫で水平な場所に設置してください。

※設置場所の詳細は、ビルトインガスコンロ側の取付設置説明書も参照してください。

2．開こん

- 本体段ボールを開けると図の通り梱包されています。
- 上当て・下当てなどの緩衝材をすべて取り除き、オーブン庫内から付属品を取り出してください。
- 下部とびらセットと排気筒は、機器本体とは別になっています。緩衝用の段ボールを取り除いてください。
- 機器本体を仮置きする場合は、段ボール等で床面の養生(傷付き防止)などを行ってください。



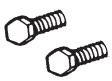
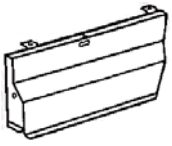
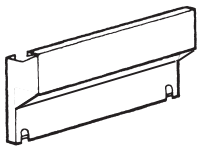
3．同こん部品

設置工事を始める前に付属部品の種類と数をご確認ください。

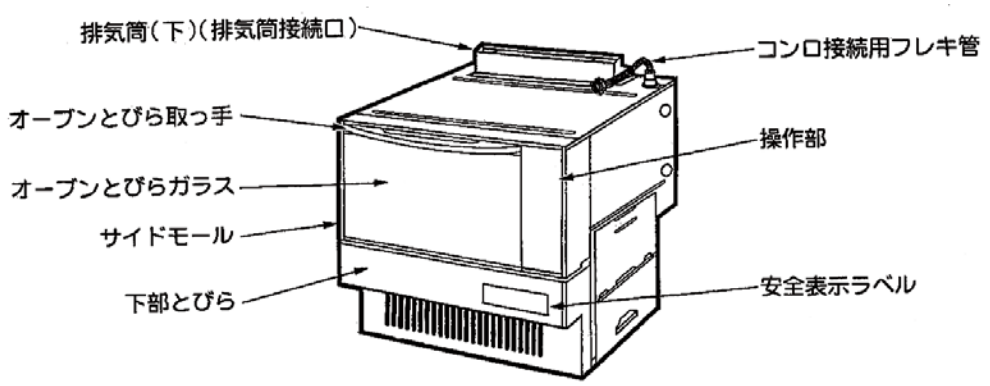
オーブン庫内の付属品箱

オーブン皿　（２個） （角皿） 	ターンテーブル　（１個） （丸皿） 	角網　（１個）
解凍網　（１個） 	ターンテーブル台　（１個） 	オーブン皿取っ手（１個） クッキングブック（１冊）

付属品およびその他

取扱説明書（保証書付）（１冊） 取付設置説明書（１冊） サービス網一覧（１枚） 	アジャスターボルト （２本） 	Oリング（１個） （コンロ取り替え時用） O （予備）	排気筒（１個） 	下部とびらセット（1個） 

4．各部のなまえ



※オーブン部の詳細な名称とはたらきについては、取扱説明書をご覧ください。

5．機器の設置

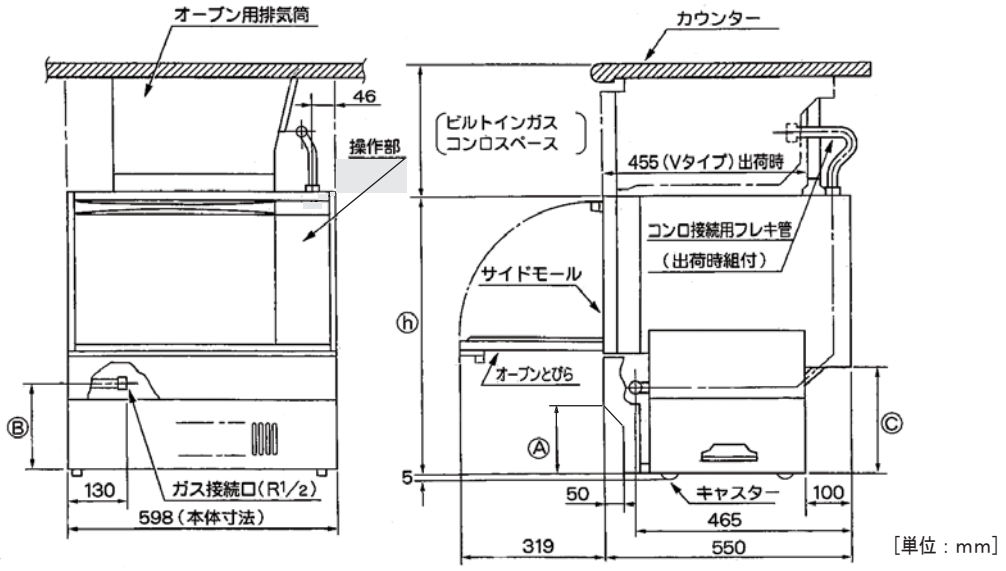
設置前の注意

⚠注意

確認

設置する機器が使用するガス種類に適合していることを銘板（ガス銘板）で確認する。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発点火によるやけど、機器が故障する原因になります。

■ 設置寸法図



●機器高さ（ⓗ寸法）は580～640mmの範囲で7段階に調節できます。
この場合のⒶ・Ⓑ・Ⓒの各寸法は下表の通りです。

［単位：mm］

機器高さ ⓗ	640	630	620	610	600	590	580
ケコミ高さⒶ	234	224	214	204	194	184	174
配管高さ Ⓑ	203	193	183	173	163	153	143
後部スペースⒸ	252	242	232	222	212	202	192

出荷時

※機器高さⓗは、
キャスター寸法５mm含まず

別売のガスオーブンケコミを取付けたときの寸法は、１２ページをご覧ください。

5．機器の設置

機器の設置

⚠注意

確認

- 設置作業にあたっては、手袋や作業服を正しく着用する。
  ケガの原因になります。

1．前後にある補強板を取り外す

- 梱包から機器を取り出し、機器前面４本（白色）後面４本（白色）のネジで固定している補強板（前）（後）を取り外してください。【図１】

※ 補強板（前）（後）は輸送時の補強部品で設置後は不要です。

- 取り外したネジ（２本）は［3．機器高さⓗの調節］で使用しますので保管してください。

2．機器高さⓗの確認

- カウンター高さⒽとビルトインガスコンロ高さ（220）を確認してください。【図２】
- 機器をⓗの高さ（Ⓗ－220）になるように調節してください。

［単位：mm］

		出荷時					
カウンター高さ Ⓗ	860	850	840	830	820	810	800
機器高さ ⓗ	640	630	620	610	600	590	580

※ 機器高さⓗは、キャスター寸法５mm含まず

3．機器高さⓗの調節

- カウンター高さⒽ850mm以外の場合は機器高さⓗを変更ください。

⚠注意

確認

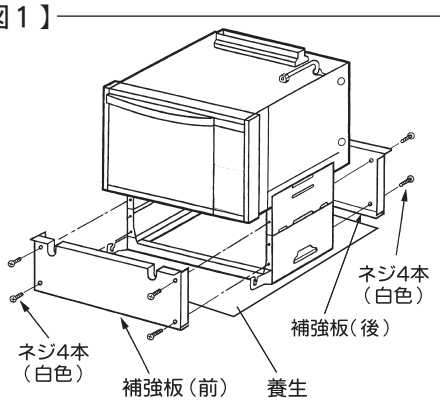
機器を倒したり、立てたり、移動したりする場合、注意する。床面等に傷をつける原因になります。
（養成シートや古毛布などを使用してください。）

- 機器をうしろ向きに倒して、Ａネジ４本（黒色、両側面・各２本）を調節したい位置に付けかえて固定してください。【図３】
- 台枠部の刻印は、機器高さⓗ寸法を表しています。【図４】

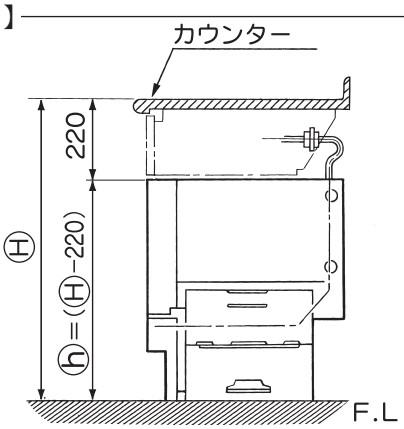
（［7．機器の据え付け］後、キャスターを収納すると機器高さⓗとなります。）

- 固定が終わったら機器を元どおり立ててください。
- ［1．前後にある補強板を取り外す］で取り外したネジ（２本）は機器前面の穴の合った所で固定してください。【図４】

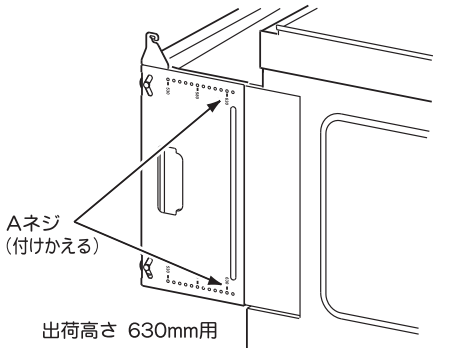
【図１】



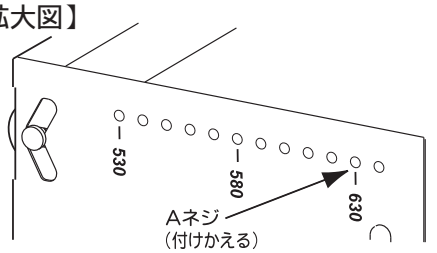
【図２】



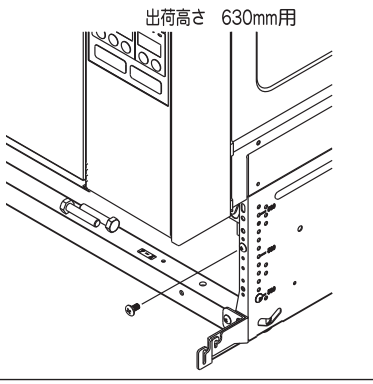
【図３】



【拡大図】



【図４】



5．機器の設置

4．排気筒（下）固定位置の確認または、調節

※本機器は排気筒（下）の固定位置がＶ（37）であることを確認してください。
もしずれていたら変更してください。【図５】

［固定位置の変更］
- ●排気筒（下）固定ビスを少しゆるめてください。（左右２本）
- ●排気筒（下）を上記の刻印の位置に突起部を合わせてください。
- ●固定ビスを再度締めて排気筒（下）を固定してください。

5．コンロ接続用フレキ管の調節

- ●機器に組付しているコンロ接続用フレキ管を【図６】のようにあらかじめ曲げておいてください。

6．機器の挿入

- ●電源コード・アース線を電源コンセントに接続して床面にはわしてください。
（電源コンセントの位置については【図14】を参照してください）
- ●機器をキャスターでスライドしてカウンター内に挿入してください。【図７】

⚠注意

確認

機器は水平でしっかりした床面に設置してください。
機器を設置するときは床面等にキズをつけないよう注意してください。

7．機器の据え付け

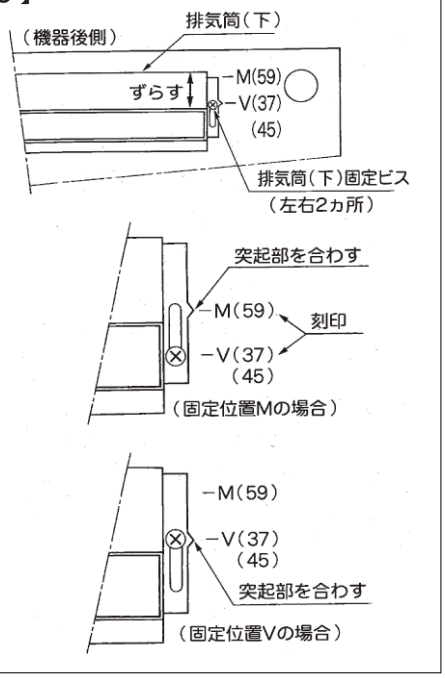
- ●キャビネットのとびら前面と機器のサイドモール前面とのツラを合わせてください。
- ●Ｂネジ（左右）各１本（銀色・前面の両サイド矢印部）を左方向へ回転してキャスターを台枠内に収納してください。
約５mmほど機器が下がり移動を防止します。【図８】

〔ご注意〕
機器を引き出す場合は、Ｂネジ（左右）各１本を右へ回転すると再びキャスターが出てきます。

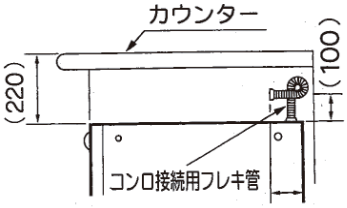
8．ビルトインガスコンロとの接続

- ●ビルトインガスコンロを設置した後、機器のコンロ接続用フレキ管を利用して、ビルトインガスコンロとの接続を行ってください。詳細についてはビルトインガスコンロ側の取付設置説明書を参照してください。

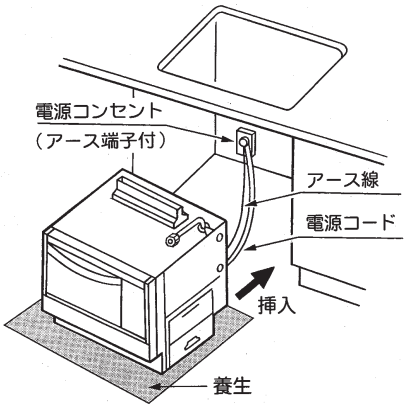
【図５】



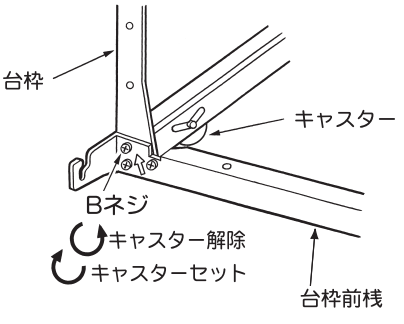
【図６】



【図７】



【図８】



5．機器の設置

9．機器の移動防止および高さの微調節

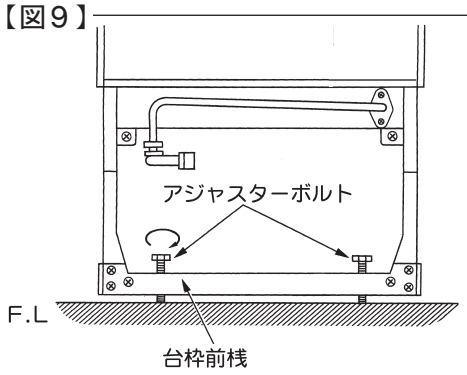
- ビルトインガスコンロと接続した後、機器の移動防止及び高さの微調節を行ってください。【図９】
- 同こんのアジャスターボルト２本を台枠前桟に取り付け、締め込むことにより調節できます。

⚠注意

確認

ビルトインコンロと機器のスキ間は、5㎜程度までとする。
ビルトインコンロが浮き上がる原因になります。

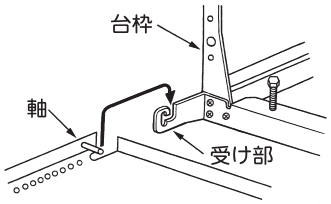
【図９】



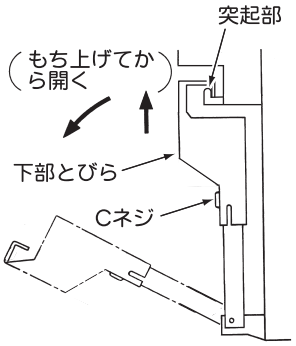
10．下部とびらの取り付けおよび高さ調節

- 下部とびらは、機器の高さⓗ＝630㎜用にセットしています。
- 下部とびらの軸を台枠の受け部へはめ込み、上下方向に可動することを確認してください。【図10】
- 下部とびらを開閉して、上部の突起部にはめ込みが確実か確認してください。【図11】
- 下部とびらのはめ込みが合わない場合は、Cネジ(左右)各１本(黒色)を少しゆるめて調節してください。【図12】(取付け穴が長穴になっていますので微調節できます)
- カウンター高さによって機器高さⓗを変えた場合は、Cネジ(左右)各１本(黒色)を取り外し、下部とびら上・下を機器高さに合う位置に付けかえてください。【図12】
- 下部とびらの高さ調節穴位置は、台枠部の機器高さⓗ調整用の穴位置と同じ関係(ピッチ10㎜)になっています。
- 下部とびら上部、下部を取り付ける場合は、Cネジをゆるめに取り付けて、下部とびらをはめ込んでから再度ネジを締め付けてください。【図12】

【図10】



【図11】

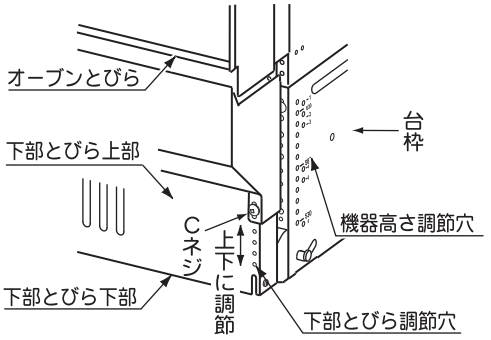


⚠注意

確認

下部とびらの開閉が確実か確認する。【図11】
オーブンとびらを開閉したとき、下部とびらに当たらないように調節する。
機器の破損の原因になります。

【図12】



別売のガスオーブンケコミを取付けたときの寸法は、
12ページをご覧ください。

11．ガス接続するにあたって

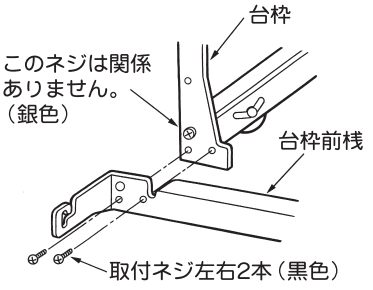
- ガス接続作業がしにくい場合は、前面下部の台枠前桟を取り外して作業を行ってください。(ネジ左右各２本・黒色)【図13】
- 接続完了後は再び台枠前桟を取り付けてください。

⚠注意

確認

アジャスターボルトは必ず締め付ける。
機器の移動の原因になります。

【図13】



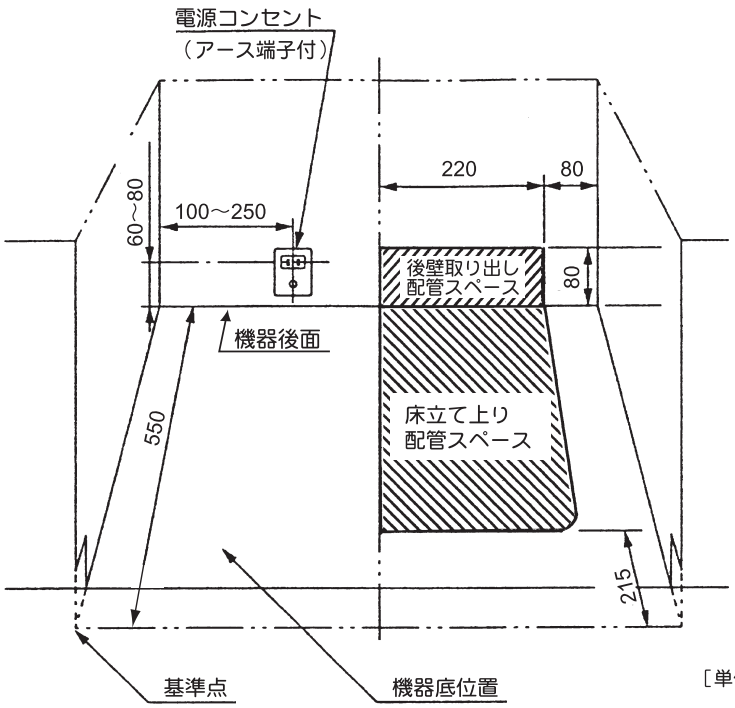
6．ガス配管・電気工事

■ ガス配管工事

1．ガス事業者・金属可とう管接続工事監督者の方へ

- ガス配管・電源コンセントの取り出し位置を確認してください。【図14】
- ガス栓は 5．標準配管施工例 に従って取り付けてください。【図17】
- 工事終了後必ず施工者ラベルに所定事項を記入し、金属可とう管に貼付してください。

【図14】

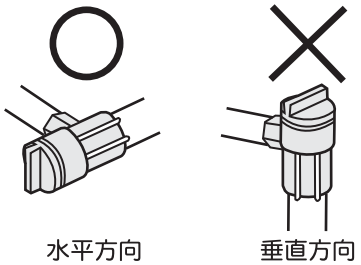


ガス配管・電源コンセント取り出し位置図

2．ガス栓

- 機器を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない(位置、口径)場合は、新設または交換する必要があります。

【図15】



3．ガス接続

- ガス接続部はＲ１／２オネジになっています。必ず金属可とう管にてガス接続をしてください。
- ガス栓はＬ型可とう管コックを使用してください。
- ガス栓のつまみは、必ず配管に対して水平方向になるように施工してください。万一、配管に対し垂直方向に施工したときはメンテナンス時に修理できない場合があります。【図15】

⚠注意

確認

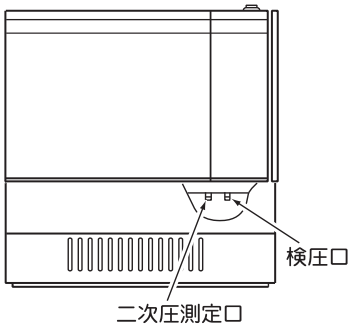
- ネジ接続のガス配管接続工事については有資格者による工事が必要です。
- 接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。

6．ガス配管・電気工事

4．金属可とう管接続工事方法

- 配管位置は 5．標準配管施工例 の寸法図を参照してください。【図17】
- 機器を据え付けて室内配管と機器ガス接続口を金属可とう管で接続してください。
- 台所のガス栓を使ってガス漏れを確認してください。
  ※検圧口はオーブン入口部の近くにもあります。
  （機器前面右側下部）【図16】
- 工事終了後必ず施工者ラベルに所定事項を記入し、金属可とう管に貼付してください。

【図16】



⚠ 警告

確認

検圧口を使った場合は、検圧口を確実にふさいでガスを通し、検圧口のガス漏れを確認する。
火災の恐れや思いがけない事故の原因になります。

5．標準配管施工例

※ Ⓑ寸法はⓗ 寸法（機器高さ）により異なります。
下表を参考にして工事をしてください。【図17】

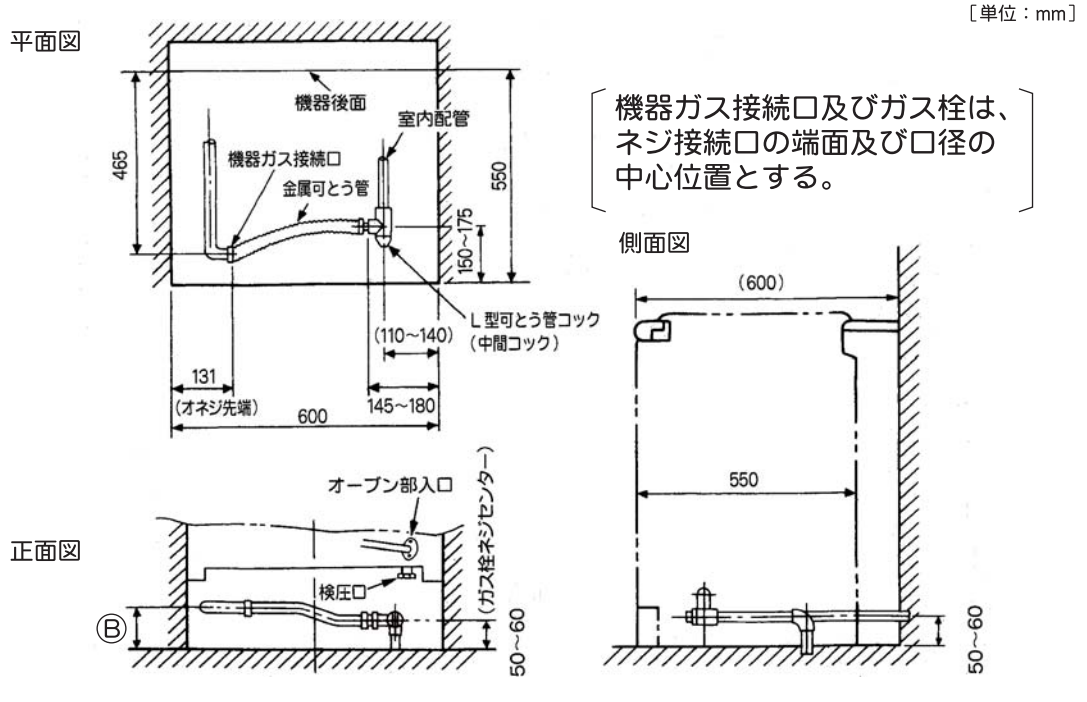
［単位：mm］

機器高さ ⓗ	640	630	620	610	600	590	580
配管高さ Ⓑ	203	193	183	173	163	153	143

出荷時

【図17】

［単位：mm］



機器ガス接続口及びガス栓は、ネジ接続口の端面及び口径の中心位置とする。

6．ガス配管・電気工事

■ 電気工事（電気工事士の資格が必要です）

1．電源コードの接続

●電源プラグは専用コンセントに差し込んで単独でお使いください。【図18】

電　　源	交流100Ｖ・50Hz-60Hz
消費電力	1170W

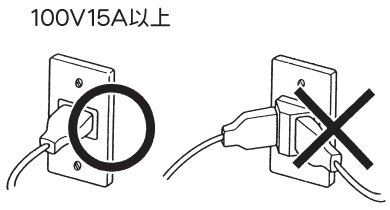
●特に電子レンジとしてお使いの場合は、同一ブレーカー回路でトースターや電気炊飯器などの電熱機器を同時に使わないでください。

●テレビ、ラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、テレビ、ラジオなどを３ｍ以上離してください。
また、できるだけ別のブレーカー回路でお使いください。

●電源コンセント（アース端子付）は右図の位置（後壁部）に取り付けることをおすすめします。【図19】

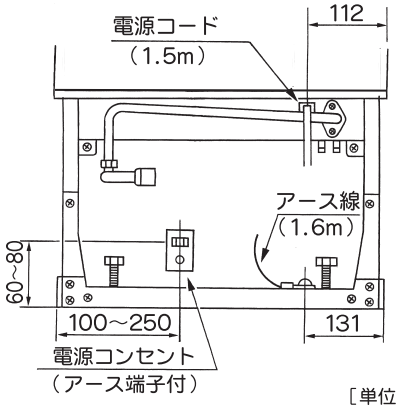
●電源コンセントはアース端子付きのものを推奨します。

【図18】



電気容量は15A以上にしてください。

【図19】



［単位：mm］

⚠注意

確認

●接続作業は必ず専門の係員が行う。
●ビルトインコンロ側も100Vが必要なときは、オーブンとは別の電源コンセントを利用する。

故障の原因になります。

2．アースについて

●万一の感電防止のためにアースを取り付けてお使いください。
●アース取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。
●次のような場合は必ずＤ種接地工事（第３種接地工事）【接地抵抗１００オーム以下】をするよう法律で義務づけられています。

※湿気の多い場所
●うどん屋さん、そば屋さんなどのように水蒸気の充満した場所。
●土間、コンクリート床の場所。
●酒、しょうゆなどの醸造、または貯蔵する場所。

※水気のある場所　この場合は漏電遮断器の取り付けについても義務づけられています。
●魚屋さん、八百屋さんの作業場などの水を取り扱う場所、その付近の水滴が飛散する場所。
●常に水が漏出したり結露する場所。

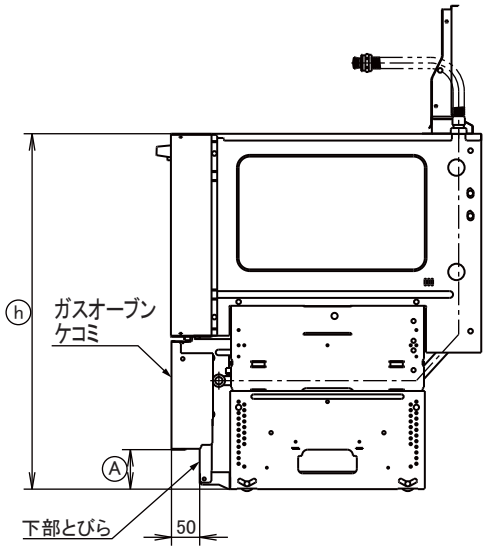
〔ご注意〕
●アース線はガス管や水道管、電話専用のアース線には絶対に接続しないでください。

7．別売

ガスオーブンケコミ
EDR314ENPLA・EDR314ENPLB・EDR314ENPLC
SDR314ENPLA・SDR314ENPLB・SDR314ENPLC

注意

- このガスオーブンケコミは、ケコミ高さを調節するとき、機器の下部とびらにかぶせて使用します。
  取付けたときのケコミ高さは、機器の高さおよび使用するガスオーブンケコミにより変わります。
  右図および下表を参照してください。



〔単位:mm〕

カウンター高さ	機器高さ ⓗ	ケコミタイプ	ケコミ高さ Ⓐ
800	580	A	70
810	590	A	80
820	600	A	90
830	610	B	50
840	620	B	60
850	630	B	70
860	640	B	80
870	―	―	―
880	※660(610+50)	C	50
890	※670(620+50)	C	60
900	※680(630+50)	C	70
910	※690(640+50)	C	80

※印　台枠付き（高さ50mm）

ケコミタイプ

A：EDR314ENPLA／SDR314ENPLA
B：EDR314ENPLB／SDR314ENPLB
C：EDR314ENPLC／SDR314ENPLC

機器高さは、ローラーキャスター収納後の寸法です。
機器の出荷高さは630mmです。

パナソニック電工株式会社
システムキッチン事業部
〒571-8686
大阪府門真市大字門真1048番地

■製造元 株式会社 ハーマン
〒554-0023
大阪市此花区春日出南3丁目2-10